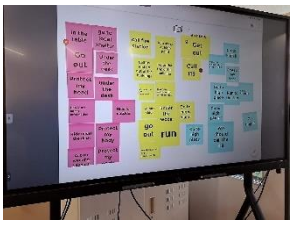
豊かな心を育む教育

○ICT を効果的に活用した「考え、議論する道徳」の推進

<table>
<tr><td>
警察官、携帯電話会社の方を講師に、ＳＮＳの使い方について、友達と意見を交わしながら学んだ。</td><td>  </td></tr>
<tr><td>情報モラルに関する指導</td><td>ＩＣＴを活用して情報共有</td></tr>
</table>

○自発的、自治的な活動の充実

<table>
<tr><td>

学年初めに生徒が学級目標を決め、生徒総会で発表。</td><td>
「学級のＭＶＰを選ぼう」
学級で、活躍している生徒を選ぶ活動。</td></tr>
<tr><td>「合意形成を図って取り組む」
学習過程の展開</td><td>互いの良さを認める振り返りの実施</td></tr>
</table>

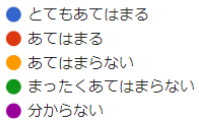
○日常生活上の諸問題を生徒自らが解決する取組の充実

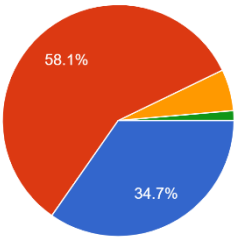
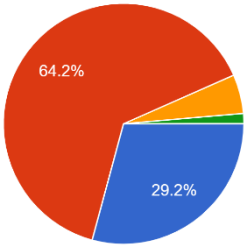
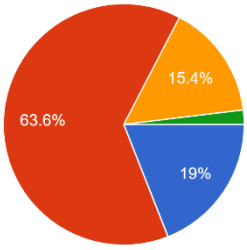
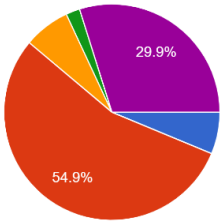
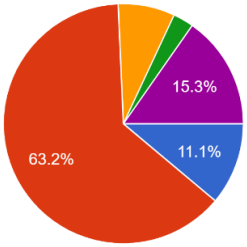
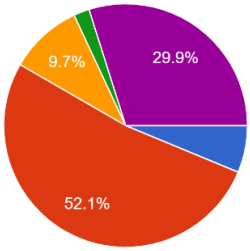
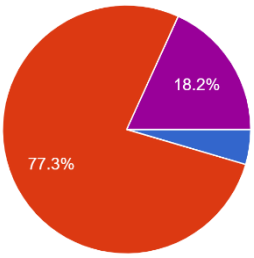
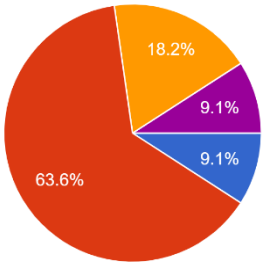
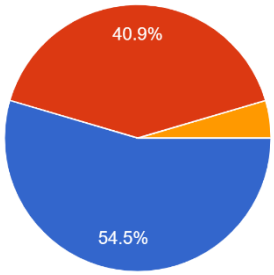
<table>
<tr><td>
「生命（いのち）の安全教育」と共に、相談することの大切さと方法を伝えた。</td><td>
生徒の意見をもとに、自転車の通行ゾーンと待機場所の分離を実現。</td><td>
生徒会役員が校則の見直しについて、議論。</td></tr>
<tr><td>SOS の出し方に関する教育の推進</td><td colspan="2">人権に配慮し、多様性を認める校則等の見直し</td></tr>
</table>

○いじめの早期発見・迅速な対応と不登校生徒の解消

<table>
<tr><td>
いじめ、不登校生徒の状況と対応について、週１回、教職員や専門家と情報共有。</td><td>
朝の会で自己ＰＲ。他者から認められる機会を意図的に設定。</td><td>
登校が困難な生徒、学級での活動が困難な生徒の支援のため、市の総合教育支援センターの職員と共に運営。</td></tr>
<tr><td>校内生活指導部会で情報共有</td><td>学級活動の充実</td><td>校内フリースクールの運営</td></tr>
</table>

豊かな心を育む教育



調査対象	調査結果		
生徒 ３６３名	道徳の授業で考えを深めている。	自分たちの問題を自分たちで解決している。	伊奈中学校では、いじめをなくすための取組や、いじめをいち早く見つける取組、いじめがあったときの対応をしている。
			
保護者 １４４名	お子さんは、道徳の授業で考えを深めている。	お子さんは学校で、自分たちの問題を自分たちで解決している。	伊奈中学校は、いじめについて、未然防止、早期発見、迅速な対応をしている。
			
教職員 ２２名	生徒は、道徳の授業で考えを深めている。	生徒は学校で、自分たちの問題を自分たちで解決している。	伊奈中学校は、いじめについて、未然防止、早期発見、迅速な対応をしている。
			

数値目標

［生徒］

・道徳の授業で考えを深めている　　９０％

・自分たちで問題を解決している　　６０％

実態

［生徒］

・道徳の授業で考えを深めている　　**９２．８％**　［１学期比＋１．１％］　**達成！**

・自分たちで問題を解決している　　**９３．４％**　［１学期比＋０．２％］　**達成！**

今後の対応

・道徳授業を複数の教員が指導できる体制づくりを目指します。

・学校全体で道徳教育の授業改善についての研修を設けます。